

万が一の事態に備えた事故を収束する防災訓練や被災者への支援の取組み 参考 3

いかなる状況下にあっても発電所で万全の対応をとるために、多くの要員がいつでも迅速に駆けつけることができるよう体制を強化しています。また、安全対策設備の整備だけでなく、それらを実際に確実に使いこなすことができるよう、万が一の事態に備えた訓練を、協力会社の方々と一丸になって徹底的に取り組んでいます。

事故を収束する訓練

総合防災訓練

発電所内ですべての電源を失い、原子炉を冷却することができなくなるなどの重大事故を想定し、原子力緊急時対策本部を設置して対応するなど、事態を安全に収束できるよう原子力総合防災訓練を実施しています。



原子力緊急時対策本部で現場支援を行なう
岩根社長(右)と豊松原子力事業本部長(左)



ERC※連携訓練
(ERCとTV会議による情報共有)
※緊急時に原子力規制庁に設置される緊急時対応センター



ヘリによる資機材運搬訓練



要員参集訓練



遠隔操作ロボット・無線ヘリ(ドローン)の操作訓練

電源供給訓練

送電線からの電力共有や非常用ディーゼル発電機が使用できない場合を想定し、電源車などの接続・起動訓練を実施しています。また、夜間の訓練も実施しています。



夜間における
接続・起動訓練

電源を失った場合の運転操作訓練

発電所内ですべての電源を失った事態を想定し、運転員は厳しい状況の中、落ち着いて事態を安全に収束できるよう訓練を実施しています。



すべての電源を失った事態
を想定したシミュレーターに
よる対応訓練

給水訓練

原子炉や使用済燃料プールを冷却できない事態を想定し、可搬式の注水ポンプや大容量ポンプなどを使用し、海水などを用いて原子炉等を冷却し続けるための給水訓練を実施しています。



放射線防護服やマスクを着用した悪条件下
を想定した訓練



可搬式代替低圧注水ポンプ設置訓練



原子炉に冷却水を注入するための
ポンプの設置訓練



大容量ポンプ設置訓練

緊急時環境モニタリング訓練

発電所敷地内および敷地境界付近について、モニタリングカーによる空間放射線量率および空気中ヨウ素濃度の測定を実施しています。



緊急時環境モニタリング訓練の様子

重機による瓦礫撤去訓練

津波等で発電所内に瓦礫が散乱した事を想定し、配備した重機で瓦礫を撤去し、人や車の通路を確保するための訓練を実施しています。



瓦礫を撤去する
ドーザー・ショベル
を使った訓練

被災者支援のための各種取組み

発電所周辺に居住されている住民の避難等に対して、発電事業者である当社としても最大限の被災者支援活動を行います。

避難時の移動支援

要支援者の方を始め、避難に必要な輸送手段(バス、福祉車両、ヘリコプター、船舶)を、出来る限り提供します。



福祉車両



船舶

避難時の検査支援

当社から、住民避難用のバスや福祉車両を提供するとともに、避難地域時(放射性物質の付着)検査要員および車両運転手等を派遣し、住民のみなさまの避難に係る協力的確に行えるよう訓練を実施しています。



住民避難地域時検査会場



住民の避難地域時検査訓練



車両の避難地域時検査訓練

生活支援物資等の支援

災害時に福井県、京都府及び関係市町が備蓄する生活物資が不足する場合に備え、原子力事業本部及び原子力発電所に備蓄している食料、生活物資等を支援する備蓄体制を整備しています。さらに、バックアップとして当社のお店・支社および近隣の事業所に備蓄している生活物資について出来る限り支援します。

生活物資の備蓄状況

食料品	59,600食
飲料水	14,000リットル
毛布	1,300枚

災害時における物資の輸送に関する協定等の締結状況

協定の種類	内容	締結民間企業等
非常災害時における資機材等の輸送用車両の優先提供に関する協定	輸送車両の優先利用等	関西圏域の民間業者